

2019 年度 2 次試験 事例Ⅳ 解答

第 1 問 (配点 25 点)

(設問 1)

	(a)	(b)
①	売上原価率	83.24%
	棚卸資産回転率	3.13 回
②	有形固定資産回転率	1.64 回

(設問 2)

安	定	し	た	賃	貸	収	入	に	よ	り	有	形	固	定	資	産	回	転	率	
が	改	善	。	コ	ス	ト	・	在	庫	増	に	よ	り	売	上	原	価	率	・	
棚	卸	資	産	回	転	率	悪	化	。											

第 2 問 (配点 25 点)

(設問 1)

建材	マーケット	不動産	全社
95.33%	69.39%	3.52%	89.09%

(設問 2)

(a)	4,345 百万円																		
(b)	全	事	業	一	律	の	利	益	構	造	で	、	か	つ	単				
	年	度	実	績	の	み	に	基	づ	い	て	い	る	点	。				

(設問 3)

(a)	91.49%																			
(b)	マーケット売上高 10%増 196 → 215.6 建材の変動費率を a とする																			
		建材	マーケット	不動産	共通	全社														
	売上	4,514	215.6	284	—	5,013.6														
	変動費	4,514 × a	149.6	10																
	固定費	323	101	30	20															
	利益	4,514 × (1 - a) - 323	-35	244	-20	250														
	$4,514 - 4,514 \times a - 323 - 35 + 244 - 20 = 250$ $4,514 \times a = 4,130 \quad a = 0.91493 \quad a = 91.49\%$																			

第3問 (配点 30 点)

(設問 1)

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
△0.9 百万円	6.1 百万円	14.5 百万円	9.6 百万円	9.6 百万円

(設問 2)

(a)	3.03 年
(b)	12.63 百万円

(設問 3)

(a)	10.53%
(b)	<p>減価償却費 6 百万円/年 原材料費と労務費の削減幅を a (%) とする 第1期 CF $(20 - 16 \times (1 - a) - 13) \times 70\% + 6 = \Delta 0.3 + 11.2 \times a$ 第2期 CF $(42 - 27 \times (1 - a) - 14) \times 70\% + 6 = 6.7 + 18.9 \times a$ 第3期 CF $(60 - 32 \times (1 - a) - 15) \times 70\% + 6 = 15.1 + 22.4 \times a$ 第4期 CF $(45 - 25 \times (1 - a) - 14) \times 70\% + 6 = 10.2 + 17.5 \times a$ 第5期 CF $(35 - 16 \times (1 - a) - 13) \times 70\% + 6 = 10.2 + 11.2 \times a$</p> <p>正味現在価値 $(\Delta 0.3 + 11.2 \times a) \times 0.952 + (6.7 + 18.9 \times a) \times 0.907 + (15.1 + 22.4 \times a) \times 0.864$ $+ (10.2 + 17.5 \times a) \times 0.823 + (10.2 + 11.2 \times a) \times 0.784 - 30$ $= 5.2291 + 70.3416 \times a > 12.63$ $a > 0.10521 \quad a \doteq 10.53\%$</p>

第4問 (配点 20 点)

(設問 1)

(a)	損益の分離と明確化、親会社と異なる労働条件が適用可能となる。
-----	--------------------------------

(b)	会社管理コスト増加や人材、資金等の機動的な活用に制約がある。
-----	--------------------------------

(設問 2)

顧客の在庫情報共有による需要見積向上により、在庫量が適正化されるため、管理コストの削減と運転資金の改善効果が期待できる。
--